

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700133		
法人名	株式会社 ワカバ		
事業所名	湖北台ケアガーデンワカバ		
所在地	千葉県我孫子市湖北台10-9-21		
自己評価作成日	平成24年1月19日	評価結果市町村受理日	平成24年4月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kaigo.chibakenshakyo.com/">http://kaigo.chibakenshakyo.com/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	平成24年1月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

湖北台ケアガーデンワカバでは、「思いやり・労わり」を念頭にいつでも笑いが絶えない環境づくりが実現できるよう職員一丸となり日々取り組んでおります。小規模多機能型居宅サービスが併設しており、地域の方々も日々通所されており、皆様と自由にお話しやお食事等一緒に時間を共有して戴ける環境もあります。ご利用者様が地域の方々とお付き合いができて楽しく且つ、安心して寂しさを感じない生活支援の継続に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな住宅地にあるホームは地域との交流が盛んで、自治会の見守りの会の会員が利用者を見守ってくれている。逆に、ホームも市の見守りネットワークに入り、地域の高齢者の見守り活動をしている。レクリエーションに力を入れており、職員が個々に「ネタ帳」を作って工夫している。訪問当日に行っていたクイズでは、時事問題からその日の有名人の誕生日まで様々な問題が出題され、みなで楽しんでた。また、別の時間対ではブンネというスウェーデンの楽器を弾きながら、みんなで楽しそうに歌を歌う場面があった。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「支え愛」をモットーに笑い溢れる環境を築きあげるべく職員一同「思いやり・労わり」を念頭にお客様(ご本人・ご家族様・関係者様)へご対応させていただいております。	今年度は年間目標として「余暇の時間の過ごし方の充実」をあげており、訪問当日もブネ楽器(スウェーデンの楽器)の演奏と歌声が聞こえてきた。理念については、朝礼やミーティングで確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議、行事、イベント等、地域の方々との「接点」が持てるよう、「参加したり」「参加していただいたり」して地域交流をさせていただいております。	自治会に加入しており、もちつき大会に参加したり、地域の見守りの会の方が声をかけてくれる。また、ホーム自体も我孫子市の見守りネットワークに協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市内及び地域の高齢者問題、独居老人や認知症行動についてなど、運営推進会議等を通じて民生委員様、自治会長様等と情報共有しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員様のご意見・ご要望且つ、ご助言を頂戴し改善できる事を率先して活動していくよう努めております。	1階にある小規模多機能型居宅介護事業所と合同で会議をしている。自治会長、見守りの会会員、市の高齢者支援課などからの参加を得て2か月に1回開催している。	現在は家族の参加が少ない状況である。行政や地域から多彩なメンバーの出席を得ているので、今後は家族に参加を促し、さらに会議の内容を充実させていくことが期待される。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター様・介護相談委員様のご指導及びご協力を頂き、管理者のみならず現場職員とも連携を図り情報共有させて頂いております。	運営推進会議の議事録からも、ホームに寄せる市の期待が大きいことが伺える。市の介護予防体操教室には、場所と人材を提供している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現行、管理者、ケアマネージャーにて身体拘束についての理解を現場スタッフに周知するべく社内研修等での学習機会を設ける計画を検討しております。	施錠を含め、身体拘束はしていない。外に出ていく人がいれば、話しかけて気分転換を図ったり、ついて歩いている。帰宅願望のある人には、家族の協力で何時間か自宅に帰れるよう支援することもある。「ダメをなくそう」というケアを心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、入浴介助時などで身体の外傷確認や心身状態の観察を強化し個々の状況把握に努め日々注意を払っております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現行、学習出来ていないのが現状である。今後、管理者、ケアマネージャーから講習等に参加し学習していき、社内研修、スタッフミーティングで職員に伝えていくようにしていきたいと考えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様と契約書及び重要事項説明書を読み合わせした上で再度説明を行い了解を得ております。契約後も疑問点などが生じてきた場合には、再度ご説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様、介護者様にもご参加していただき、ご意見・ご要望を頂戴しております。但し、現行参加者も少なく課題となっているのが事実でございます。	電話をかけた後、家族来訪時に話を聞いている。入居者の要望などは病院の通院時、入浴の時間に個別に聞くことが多い。把握した意見はできるだけ、反映させるようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフミーティングを開催し、提案などを皆で出し合い議論している。事業所内だけでは決定できない案件については、本部会議にて稟議をかけて検討していただいております。	朝礼やミーティングで、意見が出ることも多い。また、グループホームノート(連絡帳)にも記録される。これまでに、薬の管理の仕方、食事の時間帯などに関する意見を取り入れた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況の変化は多少発生しておりますが、職員全員が柔軟に業務が行えるよう担当制にせず出来る限り全員がオールマイティーに業務が行えるようにしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	3ヶ月に1回のペースで個人面談を行い、個人の力量、考え方などの共有を理解し合っている。尚、個々が向上心及びモチベーションを高めていけるよう居室担当制にして使命感等養っていけるようにしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所様との交流に関しては市全体での事業所分科会に参加させていただき意見交換などさせていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のご要望のみならず職員からもご提案させて頂き少しでも悩み解決出来るよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様の状況も踏まえ、同時にご家族のご状況及びご要望も確認して必要なサービスをご提案させて頂き、安心してどんな事でもご相談して頂ける関係且つ、密に連絡のやり取りを行い即対応に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント時ご本人・ご家族のご意向を把握させて頂き、出来る限りご意向を尊重して職員全体で話し合い必要なサービス提供を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・洗濯、食事の準備、後片付け等、一緒にいき生活協同者と思っていただけるように日々努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	イベント・お誕生日などの際、ご家族様にお知らせしてご面会できる機会を設定していくようにしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の知人様をご面会に来られた際、ホーム内の方が気軽に話し出来る雰囲気づくりを意識しております。	家族の協力で家に帰ったり、お墓参りに行く人もいます。また、手紙や電話の支援もしている。併設の小規模多機能型居宅介護事業所からグループホームに移った人もおり、小規模で知り合いに会ったりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は1Fフロアにて、小規模多機能サービスのご利用者様と一緒に過ごして頂いたり、朝・夕もご利用者様同士食事、TVなどフロアにて皆でお話しをしながらたえず笑い溢れる環境作りに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した場合でもご本人様・ご家族様が不安にならないようお電話させて頂いたりして出来る限り支援していくよう努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様のご意向を尊重して対応させて頂いております。(帰宅願望、趣味・趣好等)但し、ホームでもご対応しきれない事が発生した場合には、ご家族のサポートをお願いし対応しております。	利用者の意思を尊重するため、職員はゆとりをもった会話や聞き取りに努めている。一日の過ごし方は利用者と居室担当者がその日の朝に話し合っで決める。職員は家族の協力も得ながら、利用者の立場に立った対応を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に十分把握が出来るよう努めております。また、ご家族様に援助させて頂いている際、疑問点などが生じた場合にはその都度お聞きし参考にさせて頂きながらご対応させて頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	「気付き」を大切に記録にも残しご利用者様お一人お一人のご様子、変化を把握出来るよう努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成、居室担当者が中心になり、個々の課題分析を行い職員全体の意見、ご家族のご意向、ご意見を反映し作成しております。尚、主治医、看護師のご指示も頂き医療面の対応も計画に反映しております。	居室担当者とケアマネジャーが課題分析を行っている。ケアカンファレンスでは他の職員の意見や医師の助言も取り入れた話し合いが行なわれ、介護計画書へと反映される。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録(日々のご様子等)は、毎日記録しております。特記事項等は「GHノート」に記入し情報共有を徹底し、より良い援助が提供出来るよう介護計画にも反映出来るようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様のニーズの変化に柔軟に対応するべく、出来ること、出来ないことをより明確に職員全体が認識し、誠意をもってお客様に対応させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会のイベントに参加させて頂いたり、地域のボランティア団体の方々に月に数回お越し頂き、ご利用者様の普段お話し出来ないようなお話しを聴いて頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療に係わる重要な情報を把握し、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けている。主治医が近隣の為、直ぐに訪問診療して頂く事が実現出来ております。	協力病院の医師とこまめに連絡を取り合い、日中夜間を問わず、相談や指示を受けることが出来ている。月2回の訪問診療と毎週の訪問看護があり、専門医の受診には職員と家族が対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が来所した際、ご利用者様の健康状態、心身状況を説明している。また電話連絡を頻繁に行い相談及びご指示を仰いで対応しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のケースワーカー様と情報交換を行い、ご家族からのご要望・ご意向を反映して対応している。入院先に現場職員も面会させて頂き、可能な限り入院先の看護師様に情報をいただくようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時ご本人様・ご家族様のご意向を伺い、ご意志を出来る限り尊重した終末期を迎えられるように主治医・訪問看護師・職員と連携して意志統一を図り、情報共有も行って対応していくよう努めております。	重度化に備え、契約時にホームの指針を説明している。「緊急対応時の確認書」などにより選択肢を提供し、利用者と家族の意向を把握するようにしている。現在のところ看取りは行なっていない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現行、全職員が応急手当・事故初期対応の訓練を定期的に行われていないのが現状であります。早急に改善すべき事項だと認識しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難方法についてはマニュアル以外でも災害時を想定して訓練を実施していきたいと考えております。	マニュアルを作成し、火災時の避難訓練を実施している。2階からの避難経路が階段であるため、スロープの設置なども検討されている。	災害対策はホームの重点課題であると考えられる。さらなるマニュアルの充実、火災以外の訓練などが必要と思われる。運営推進会議等を通じた自治会への協力要請も出来る環境にあるため、早急な対応が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いについては特に注意を払い対応しております。声のトーン・思いやりある穏やかな言葉掛けなどを意識してご利用者様が不快感を感じないように対応しております。	排泄時には職員はその場を離れ、しばらくしてから様子を見るようにしたり、同性介助を行うなどの対応をしており、人格の尊重、プライバシーへの配慮をしていることが伺える。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様と職員との間で何でも話し出来る関係づくりや思い、希望をきちんと聴くように努めております。お聴きしたお話しを参考にして、より良い援助に活かしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、昼間帯でのレクリエーション時間をどのように過ごしていただくかを確認しながら個々の過ごし方を決定しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着衣など個々の好みに合わせてコーディネートさせていただいております。ヘアカットに関してもご意向に合わせて、訪問理容もしくは馴染みの理美容店にお連れする支援を行っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が付き添い一緒に行うよう支援している。	献立作りから始まり、買い物、調理、配膳など、利用者と職員の共同作業で行われている。催事の食事、おやつを作るレクリエーション、外食などが年間を通して行なわれている。会話が弾んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量はその都度チェックを行い、一日のトータル摂取量を把握し多い・少ないを判断して申し送り等にて注意を払っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず口腔ケアしております。介助が必要な方については職員が行い、義歯の方についてはお預かりして消毒させて頂いております。訪問歯科診療の先生様にもご指導頂き対応させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、声掛け、トイレ誘導させて頂いております。	個々の入居者の現状維持が支援の目標である。全員が職員の声かけと誘導によりトイレを利用している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事において食物繊維の多く含まれている食品や乳製品を取り入れるよう工夫しております。また、体操や散歩を頻繁に行うよう努めております。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴予定の曜日は計画しているが、体調不良等もしくは、外出の場合などもありますので出来る限り曜日を変更して入浴して頂いております。午前・午後とも入浴出来るように支援しております。	週2回が基本だが、曜日、時間帯の変更は自由である。入浴は入居者と職員がゆっくり向き合える時間と捉え、会話を大切にしている。一人ひとりの体調を把握し、医師の指示も仰ぎながら、安全な入浴が行えるよう努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間不眠が生じた場合には、お茶や温かい飲み物(ホットミルクやココアなど)をお出しし、お話を聴くなど安心して布団に横になつてもらえる環境作りを行い対応させて頂いております。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のセット時、内服時に誤薬が発生しない様Wチェック(封を開ける際の時と開けてお渡しする際)して誤薬管理している。変化については必ず記録に残し主治医・訪問看護師に報告してご指示を仰ぐようにしている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お花見など四季折々に合わせた行事・イベントを検討し外出を行ったりお誕生日会などご利用者様のご希望に添った計画及び実行出来るよう努めております。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望された場合には散歩及び買い物に出掛けております。また、自治会の盆踊り大会や餅つき大会にも参加させて頂いております。	個々の希望に沿った支援に努めている。季節の行事、年3回の外出など定例化した外出の他、自治会主催の盆踊りや餅つき大会にも参加し、地域交流の機会となっている。寒中を除き、隣接の公園を散歩している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	しまい込んで忘れてしまったりしてしまうご利用者様が多くいらっしゃる為、ホーム金庫にてお預かりさせて頂いております。また、外出時等の際にはスタッフ管理のもとご本人様にお渡しして対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望の際、お電話できるように支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レクリエーション時に制作した作品をホーム内に飾ったり、掲示したりしております。照明もあたたかい色合いのものを選び穏やかな雰囲気演出しております。特に「におい・香り」意識してトイレ、玄関については不快感を与えないよう注意を払っております。	共用空間は落ち着いた色調で統一され、採光がよい。窓からは周辺に立ち並ぶ家屋や公園を見渡すことができる。1階にある併設の小規模多機能型居宅介護支援事業所との共用のベランダには椅子やテーブルが置かれ、公園を眺めながら外気浴ができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1F・2Fフロア共に食堂・和室等自由に利用していただけるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で馴染んだものを継続して使用していただき安心して過ごせるお部屋環境にしていけるよう配慮しております。	各居室は入居前の生活が想像出来るようなものが数多く配置され、居心地がよさそうである。全室に空気清浄機が設置され、掃除が行き届いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様が洗濯物を干したり、たたんだりすることが出来る環境を整えている。また、残存機能を活かし入浴などできるよう浴室も整備しております。		